

## 編集後記

2011年3月11日からほぼ2年経とうとしています。あの東日本大震災からの復興や東京電力福島第1原子力発電所事故の解決は、なかなか前に進みません。その痛手は2年経った今も、少しも癒えていません。

この時期は、いつも雪について思いを巡らします。今冬は、北海道、東北、北陸では、荒天が続き豪雪です。新千歳空港は何度欠航したことでしょう。山々の積雪も春を待っています。

多くの皆様のお力添えで、今年も第14回フォーラムを開催することができます。フォーラムで配布させて頂く資料集は、毎年継続して寄稿頂いている山域が軸にすわっています。

利尻山山岳年報として利尻山のこの1年を知らせて頂きました。日高・幌尻山荘のトイレでの御苦労の様子が今年も紹介できます。大雪山国立公園におけるいろいろな情報も届きました。協働型登山道維持の取り組み、黒岳山岳トイレの運用状況、黒岳石室をはじめとする避難小屋の話題などを紹介します。知床・羅臼岳の携帯トイレの普及活動の紹介、知床のフードロッカーやヒグマを題材にして登山者意識の再構築の提案がありました。美瑛富士避難小屋のトイレ問題は十数年来の懸案事項です。アポイ岳のトイレ問題の検討も課題です。北海道の山岳環境問題の改善は、残念ながら遅々として進みません。

本州からは、神奈川県・丹沢山塊の土壌処理方式山岳トイレの汚泥引抜きについて貴重な情報の提供を頂きました。富士山クラブから富士山の世界遺産登録を前にした想いを伝えて頂きます。北アルプス・槍ヶ岳や後立山連峰の山岳トイレ状況の紹介もあります。現在進行形で、山岳トイレ建設を検討されている山域；四国の石鎚山、九州福岡の英彦山に係わる皆さんの活動の様子・御苦労が伝わります。

全国のいろいろな地域の皆さんのことや山域での情報を紹介できることは、私達の活動の励みとなっています。本資料集に寄稿頂きました皆様、お忙しいなか本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この14回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役にたてるようにと願っています。

(小枝 正人)

禁複製